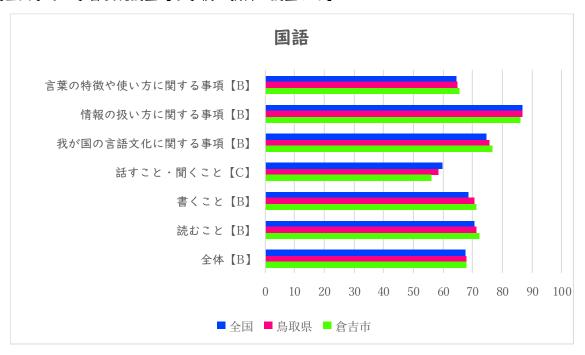
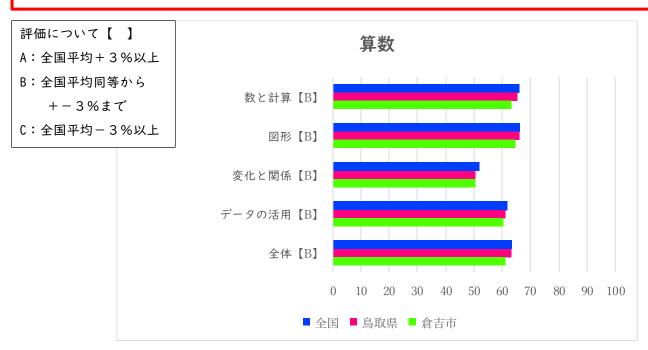
## 令和6年度全国学力・学習状況調査【小学校・教科の調査から】



全体平均正答率は、全国平均を 0.3 ポイント上回り、県平均と±0 ポイントでした。

- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」のうち「文の中における主語と述語との関係を捉えることができるか どうかをみる」がよくできていました。
- ・「書くこと」のうち「目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」がよくできていました



全体平均正答率は、全国平均を2.4ポイント、県平均を2.0ポイント下回りました。

- ・「変化と関係」のうち、「道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる」ことがよくできていました。
- ・「図形」のうち、「直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかどうかをみる」について の正答率が、全国平均と比べて低い数値でした。